

平成15年6月19日

文部科学大臣
遠山敦子 殿

国立大学図書館協議会会長
東京大学附属図書館長
小宮山 宏

「要望書 - 学術情報流通の基盤の充実に向けて - 」について

このことについて、国立大学図書館協議会では、別紙の要望書を提出いたしますので、その実現方について、関係各位のご理解と特段のご配慮をお願い申し上げます。

平成15年6月

要 望 書

- 学術情報流通の基盤の充実に向けて -

国立大学図書館協議会

平成15年6月

要 望 書

- 学術情報流通の基盤の充実に向けて -

国立大学図書館協議会会長

東京大学附属図書館長

小 宮 山 宏

国立大学附属図書館の整備充実につきまして、平素から格別のご理解とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

国立大学では、平成15年2月の「国立大学法人法案」の閣議決定を受けて、これまでの大学改革の流れを、一層自主的な改革の好機と捉え直し、教育・研究の質の向上、グローバルな視野に立った大学づくりに取り組んでいるところです。急速に進展するインターネット上の情報環境下、国際競争力あふれる「知」の拠点としての大学を作り上げるにあたって、学生・院生の学習基盤であり、研究支援装置としての大学図書館の課題は、学術情報流通の基盤として常に進化し、学内の教育・研究上の要請、生涯学習社会の知的好奇心に応えるサービスを展開することにあります。

「学術情報の流通基盤の充実について（審議のまとめ）」（平成14年3月12日、科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会情報科学技術委員会デジタル研究情報基盤WG）では、大学図書館の課題として、学術研究推進のために必要な学術情報の収集と国際的な情報発信力を強化する方策を実現することの一翼を担うことが求められています。上記のまとめを受けて、平成14年5月、文部科学省研究振興局情報課は「学術情報の発信に向けた図書館機能改善連絡会」を設置され、この数年、電子的図書館機能に係る予算を措置された十五大学の附属図書館に対して、電子図書館的機能の改善への取り組みを促され、一年間の実践的取り組みを報告書にまとめられたところです。

国立大学図書館は、この報告書の実践例を参考に、課題遂行に向かって、効率的な運営に努め、自助努力も行いながら、業務を展開する所存ですが、文部科学省におかれましても下記の点につきまして、引き続きご支援とご配慮をお願いいたしたく、国立大学図書館協議会の総意を持って要望申し上げます。

記

1．学術研究デジタルコンテンツの一層の整備

近年、ライセンス契約による電子フォーマットの情報資源（電子ジャーナル及び電子図書）が出版事業の大きな流れとなり、インターネット環境下での利用が一層拡大し、紙媒体等の旧来の手段を駆逐して、今や最大の国際学術コミュニケーションの情報手段となっています。

とりわけ電子ジャーナルは、その速報性、ハイパーテキストとしての高機能性、動的プレゼンテーション機能等の特質から、国際的に研究者の支持を受ける学術情報媒体に成長してきました。

我が国においてもこの間二年にわたり、科学技術基本計画の重点四分野の内、ライフサイエンス分野、情報通信分野、ナノテクノロジー・材料分野の電子ジャーナル経費を措置いただき、各大学の研究者から歓喜をもって迎えられたところ です。

このように一定の改善がはかられたものの、三分野に関連する大学にあっても二年間の予算措置では約850タイトルをカバーするに留まっており、我が国の電子ジャーナルの状況は、グローバルな学術情報環境の水準から見ると、いまだ十分な内容とは言えません。

各大学の必要とする学術研究資料は、基本的に各大学の責任において収集・提供すべき事項であることは論を待たないところですが、我が国の学術研究をより推進し、質の高い学術情報の発信を確保する上で、措置済みのライフサイエンス分野、情報通信分野、ナノテクノロジー・材料分野と共に、科学技術基本計画の四分野の内唯一残された環境分野の電子ジャーナルの導入に、特段の予算措置をご配慮頂きたく要望するものです。

2．法人化後の図書館関係予算の確保について

法人化後の大学図書館関係予算の各大学への交付は、運営費交付金として各大学ごとに一本の経費として配分される予定と伺っています。各国立大学図書館は、学内で正当に評価を受け、図書館事業の展開に必要な予算確保を目指して、大学の中期目標・中期計画に図書館の要求を盛り込んでいくこと等の努力をしているところですが、文部科学省内の大学図書館関係予算の総枠を維持頂くことが、附属図書館の各大学内での発言力を維持・発展させる上で不可欠の要素であると考えられます。文部科学省内におかれましても、図書館の持つ学生サービス、研究者支援機能等の学習・教育・研究上の特別な位置をご勘案いただき、これまで同様ご助力くださるよう重ねてお願い申し上げます。